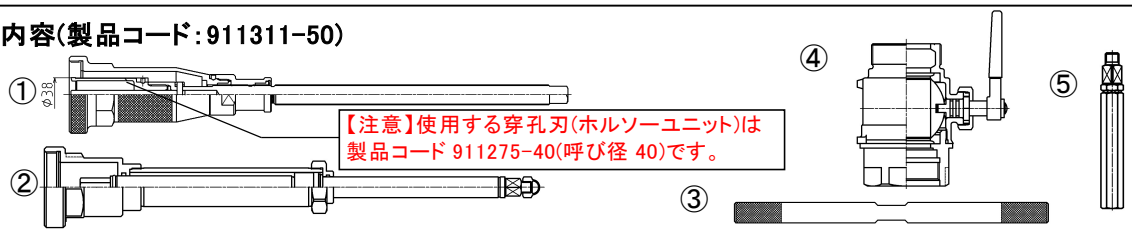
止水機構付 EF サドル S2A 型　取出し 50　不断水穿孔･プラグ挿入機　施工手順書

止水機構付 EF サドル S2A 型　取出し 50（以下、サドルという）の施工にあたっては、パイプラインとしての性能を確保するために、以下のポイントにご注意いただき、確実な施工を行ってください。

穿孔挿入機セット内容(製品コード:911311-50)

①穿孔機
②プラグ挿入機
③ハンドル
④ボールバルブ
⑤止水バー



施工手順･ポイント

【注意】融着作業はサドルに同梱のチラシを参照してください。
穿孔作業はサドルを融着接合、給水管継手～第 1 止水栓の接続が完了、規定の冷却時間が経過してから行ってください。

～穿孔～

1. ボールバルブの取付け

･サドルのキャップを外し、ボールバルブ（以下、バルブ）がサドルベース部に接触するまで手締めで取付けます。（**写真 1**）

【注意】
･ねじを傷めない様、垂直に取付けてください。
･工具による過度の締め付けはしないでください。サドルのねじを傷めるおそれがあります。

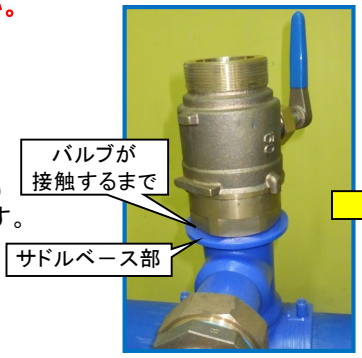


写真 1

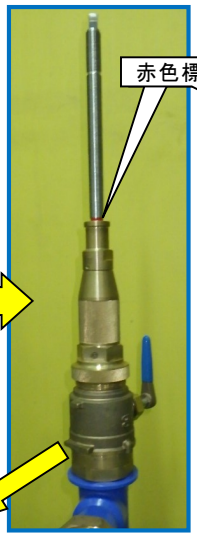


写真 2

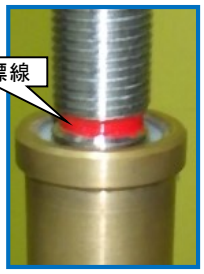


写真 3

2. 穿孔機の取付け

･穿孔機に穿孔刃がついていることを確認し、シャフトの赤線が見える状態でバルブの上部に取付けます。（**写真 2、3**）

【注意】
･**呼び径 40 の穿孔刃(ホルソーユニット)を使用します。**
･サドルのねじに負荷がかからない様にするため、バルブを押さえながら締め付けてください。
･シャフトの赤色標線が見える位置でバルブの開閉が行えます。

写真 4

写真 5

3. 穿孔作業

･ハンドルを穿孔機シャフトに取付け、バルブが全開であることを再確認し、右回転で穿孔します。（**写真 4**）

【注意】
･バルブを閉じた状態で穿孔すると、バルブ、穿孔刃が破損します。
･穿孔が終了するとハンドルが軽くなりますが、穿孔不良を避けるため、必ずストロークエンドまで送りをかけてください。穿孔の途中で穿孔刃を上昇させると、穿孔刃の脱落等、不具合が発生するおそれがあります。

･穿孔終了後、ハンドルを左回転し、シャフトの赤色標線が見えるまで穿孔刃を上昇させた後、バルブを閉じます。（**写真 5**）

【注意】
･赤色標線が完全に見えたらそれ以上穿孔刃の上昇をしないでください。必要以上に上昇すると穿孔時の切片が落下するおそれがあります。
･シャフトねじ部より若干の水漏れがありますが異常ではありません。

･バルブが緩まないように、バルブを押さえながら、穿孔機を取り外します。

4. 穿孔刃から切片の除去

･取り外した穿孔機のハンドルをさらに左回転して、穿孔刃を上昇すると内部の押し出し棒が切片を突き出し、穿孔刃から取り外せます。
ホルソー内に残った切粉も取り除いてください。
（**写真 6、7、8**）

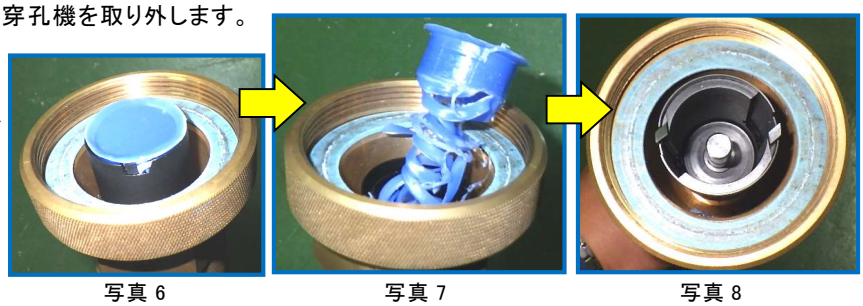


写真 6　写真 7　写真 8

5. プラグの挿入（空管施工の場合）

※不断水の場合は 6.以降を参照

･空管施工の場合、穿孔終了後にバルブを外します。
･止水バーにハンドル、ナットを取り付け、プラグに差し込み、プラグの上面がサドルと同一面になるまでねじ込みます。（**写真 9、10、11**）

【注意】
･プラグは、斜め挿入にならないよう注意し、手でねじ込み、その後、止水バーで送ってください。（**写真 9、10**）

･10 項に記載している手順でサドルにキャップを取り付けます。

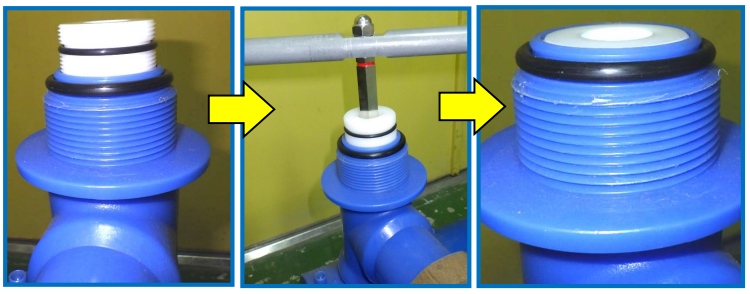


写真 9　写真 10　写真 11

止水機構付 EF サドル S2A 型 取出し 50 不断水穿孔･プラグ挿入機 施工手順書

～プラグ挿入（不断水施工）～

6. 挿入機の準備

・プラグに O リングが付いている事を確認し、挿入機に取り付けます。
シャフト先端の六角にプラグを奥まで差し込み、プラグが落下しないことを確認してください。
（写真 12、13）

【注意】
・プラグの O リングで止水するので、ゴミ等異物が付いていない事を確認してから使用してください。
・シャフトの O リングでプラグを固定しています。固定が緩い場合は O リングを交換してください。

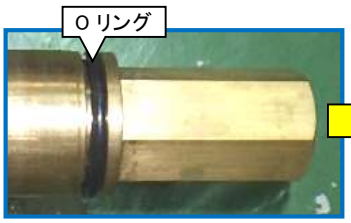


写真 12

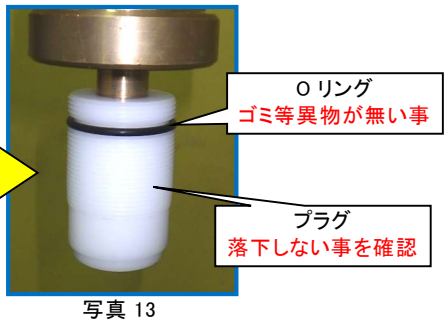


写真 13

7. 挿入機の取付け

・シャフトを上まで引き上げた状態で、挿入機をバルブに取付け、シャフトにハンドル、ナットを取付けます。**（写真 14）**

8. 挿入作業

・バルブを開け、シャフトが止まる位置までまっすぐにハンドルを押し下げてください。
（写真 15）
・ハンドルを押さえながら右回転させ、標線位置まで、プラグをサドルにねじ込みます。
（写真 16）

9. 挿入機の取り外し

・ハンドル、シャフトを引き上げます。
・ハンドル、シャフトを引き上げた状態で、挿入機、バルブ、を取り外します。
・プラグの上面がサドルと同一面であることを確認してください。
（写真 17）

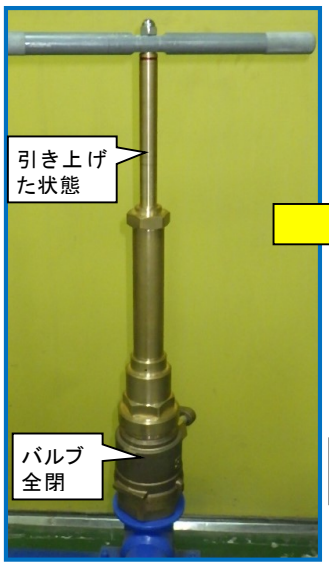


写真 14

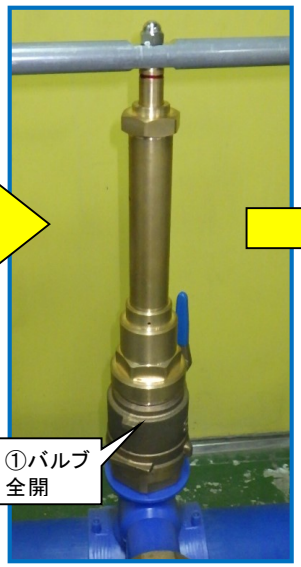


写真 15

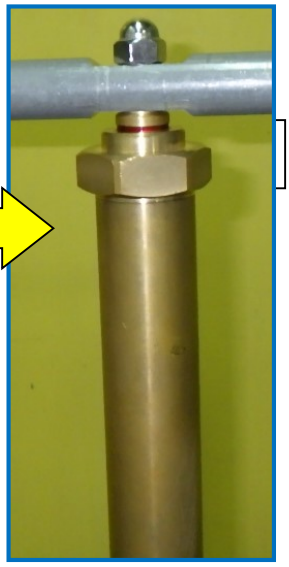


写真 16

写真 17

写真 18

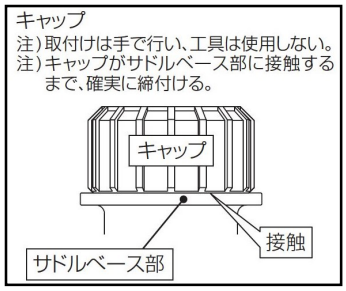


図 2

10. キャップの取付け（空管の場合も同様）

・サドルにキャップをし、プラグ挿入を示すシールを、キャップの上部に貼ります。
（写真 18、図 2）

11. 止水（プラグによる閉栓）

・止水は、止水バーを使用して行います。
止水バーにハンドル、ナットを取り付け、プラグに差し込み、ハンドルを回します。
・標線位置付近でプラグが止水部にあたります。
止水部にあたってから 1/4 回転程度増し締めし、止水します。
（写真 19、20）

【注意】
・標線を超えるまでねじ込むと破損の原因になります。

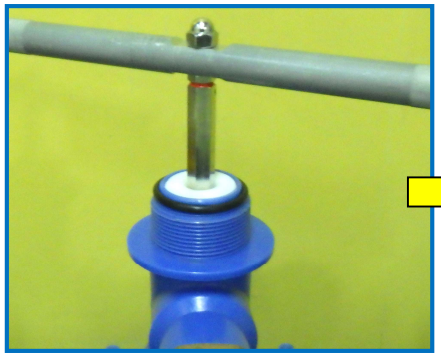


写真 19

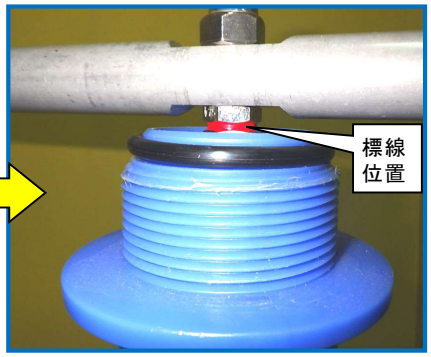


写真 20

お問合せ･ご用命は、下記へ

前澤給装工業株式会社
本社〒152－8510東京都目黒区鷹番2丁目14番4号
www. qso. co. jp

※この施工手順書は予告なく改訂･変更する場合があります。 No.W1050
2022 年 10 月（改訂 2 版）